

Fw: 東北 Fan Meeting Vol.9

関連
地域

宮城県
福岡県

被災経験から生まれた 防災ビジネス

新しい備蓄食から
私たちの食と防災を考える



3 すべての人に健康と福祉を



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう



テーマ 起業・創業／新分野・新市場・海外進出

#備蓄食 #LIFESTOCK #防災ゼリー #農業スクール #朝倉市 #荏胡麻



参加費
無料

定員
50名

主催
復興庁

オンライン
で開催!

日時

2020
10/15 (木)
19:00~21:00

場所

オンライン開催

※インターネット会議サービス
「Zoomウェビナー」に接続

(後日、申込された方に接続先の情報をメールいたします。)

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

https://form.run/@fm-zoom-1601861633/?utm_source=web&utm_medium=flier&utm_campaign=vol9



10/15

開催当日

12:00

締切

◆ Fw:東北 ホームページ

https://www.fwthoku.com/?utm_source=web&utm_medium=flier&utm_campaign=vol9



◆ フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/fwthoku/>



被災経験から生まれた防災ビジネス

新しい備蓄食から私たちの食と防災を考える

日時 2020.10.15(木) 19:00~21:00 (開場 18:30) 場所 オンライン開催

企画趣旨

地震や水害などの大規模災害に備え、家庭や職場で非常用の備蓄食を蓄えてことが重要だと言われています。一方で、十分な備えをしていない家庭なども多く、食の備えについては栄養、味、食べやすさなど、さまざまな観点で充実が求められています。

宮城県多賀城市の株式会社ワンテーブルでは、東日本大震災での被災経験から、ゼリー型の備蓄食「LIFE STOCK」を開発し、新たな防災の仕組みも考慮したビジネスの展開を図っています。今回は、同社代表取締役の島田昌幸さんから、「あのとき、ほんとうに欲しかったもの」を追求し続けた備蓄食の開発プロセスや、その後の展開についてお話を伺います。

また、他地域からは福岡県朝倉市から、株式会社 アグリガーデンスクール&アカデミー の農場長で荏胡麻(えごま)の生産に取り組まれている高良寛さんと同社の代表取締役社長である堂脇広一さんを迎え、同地での生産者側の取組をお話しいただきます。この地域では、荏胡麻の栽培など、高付加価値の農産物の生産を目指し、他業種の企業も巻き込みながら活発な取組が続いています。

非常用の備蓄食を広げるために、地域の食材をどのように活用し、人々の暮らしへ浸透を図ることができるでしょうか。ワンテーブルと朝倉市の生産者とのつながりづくりを題材にしつつ、参加者のみなさんにとって、ほんとうに欲しいものを一緒に考えていきましょう。

登壇者 ※敬称略

◆ 島田 昌幸 (株式会社ワンテーブル 代表取締役)



高良 寛 氏



堂脇 広一 氏

[他地域登壇者]

◆ 高良 寛 (荏胡麻生産者/株式会社 アグリガーデンスクール&アカデミー 農場長) (福岡県)

◆ 堂脇 広一 (株式会社 アグリガーデンスクール&アカデミー 代表取締役社長) (福岡県)

プログラム(予定)

18:30	開場 (参加者接続)
19:00	開会メッセージ/趣旨説明
19:15	インプットトーク① 株式会社ワンテーブル 代表取締役 島田 昌幸 氏
19:35	インプットトーク② 荏胡麻生産者/ 株式会社 アグリガーデンスクール&アカデミー 農場長 高良 寛 氏
20:00	パネルディスカッションなど
20:20	アンケート記入/Fw:東北活動紹介
20:25	閉会メッセージ
20:30	オンライン上での交流タイム (~21:00)

こんな方にオススメ!

- ・災害時の食や健康について関心のある方
- ・非常用の常備食の蓄積に関心のある方
- ・地域での農業の活性化に関心のある方
- ・大規模災害での被災経験を活かした商品の企画・開発に関心のある方
- ・その他、本イベントに関心のある方 等

Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw:東北 Fan Meetingとは

「Fw:東北 Fan Meeting」では、東北被災地における「新しい東北」の創造に向けた取組やそれらに取り組む人々にフォーカスし、認知向上や共創の輪の拡大及び東北の防災・減災、復興の経験値の共有を目指し、復興庁が主催する各種イベントを全国各地で多数展開(年間15回程度)いたします。